

Q1 授業づくりで、まず考えるべきことは？

A まず、学習指導要領解説に示されている美術科の目標を確認し、3年間の美術科の授業を通して、美術科の目標の実現を目指しましょう。

ポイント：美術科の目標や資質・能力ごとの評価の観点の趣旨を確認し、育成する資質・能力を明確にした上での指導と評価の一体化を意識しましょう。

【中学校美術科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

知識及び技能

思考力、判断力、
表現力等

学びに向かう力、
人間性等

文部科学省「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 美術編」を基に作成

美術科の目標の柱書には、「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方※¹を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる※²資質・能力を次のとおり育成することを旨とする」（下線は本研究による）とあります。美術科の目標の実現に向けては、育成を目指す資質・能力(1)、(2)、(3)を相互に関連させながら育成できるようにすることが重要です。



美術との関わり方は、人それぞれです。
生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることを旨とするのが目標です。

※1 よさや美しさなどの価値や心情などを感じ取る力である感性や想像力を働かせ、対象や事象を造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくりだすこと

学習指導要領解説で示されている「新たな価値」を生み出すことと重なりますね！「造形的な見方・考え方」に示されていることは、これまでの美術科の指導でも大切にしてきたことですね。



※2 生活や社会の中の形や色彩などの造形の要素に着目し、それらによるコミュニケーションを通して、一人一人の生徒が自分との関わりの中で美術や美術文化を捉え、生活や社会と豊かに関わること

美術科の目標には、生活する中で様々な美術への関わり方があると示されているのですね！

3年間で美術科の目標の達成を目指すということは、単によい作品を残すということではないのですね。



【中学校美術科における学年別の評価の観点の趣旨】

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて表現方法を工夫して表している。 	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
第2学年及び第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。 	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

国立教育政策研究所『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料（中学校美術）』を基に作成

各教科等の目標を踏まえ、観点別学習状況の評価の対象とするものについて整理したものが、教科等の評価の観点の趣旨（下線は本研究による）です。各学年の目標を踏まえ、観点別学習状況の評価の対象とするものについて整理したものが学年別の評価の観点の趣旨（下線は本研究による）です。

中学校美術科の目標や資質・能力ごとの評価の観点の趣旨を確認し、育成する資質・能力を明確にすることが大切なのですね。

「生徒にどのような力が身に付いたか」という学習の成果を的確に捉えた上で「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を図りながら「指導と評価の一体化」の実現を目指し、生徒に必要な資質・能力を育んでいきたいと思えます！

